

MUSEUM NEWS

福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 エントランスホール展示

「美術館への年賀状展 2025」

2025年1月12日(日) - 1月31日(金)



上・下：昨年度の展示風景より

開館スケジュール (○印=休館日)

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
㉗	㉘	㉙				
㉚	㉛	㉜				

1月

日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	④
⑤	⑥	7	8	9	10	11
12	13	⑭	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	⑳	28	29	30	31	

利用案内

開館時間 9時30分 - 17時 (最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館) / 祝祭日の翌日 / 年末年始および臨時休館(12月17日～1月5日)

観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)、高校生以下無料 ※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。 ※企画展料金で常設展もご覧いただけます。 ※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)

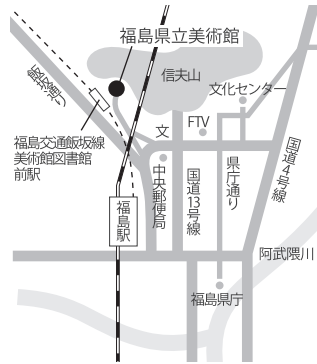
交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

- 電車 福島交通飯坂線「美術館 図書館前駅」下車徒歩2分
- バス 9番乗場より福島交通バス / 市内循環ももりん2コース「県立美術館入口」下車徒歩3分
- タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市街地方向へ約15分



福島県立美術館

〒960-8003
福島市森合字西養山1番地
TEL 024-531-5511
FAX 024-531-0447
<https://art-museum.fcs.ed.jp>



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

創作プログラムのご案内 受講生を募集します

マーブリングでとびだすカードづくり

さまざまな色を垂らし混ぜ合わせてできた模様を楽しむマーブリングの技法を使ってオリジナルの紙を作り、開くと飛び出すグリーティングカードを作りましょう。クリスマスカードや年賀状なども作れます。

日時：12月8日(日)10時～12時頃

講師：美術館スタッフ

対象：5才～小学生8名程度

※小学校低学年以下は保護者同伴

(ハサミを使います)

会場：当館実習室

材料費：500円

【申し込み締め切り：12月5日(木) ※先着順】



県立美術館「創作プログラム」係

TEL 024-531-5511

美術館総合受付、美術館ホームページからもお申し込みいただけます。

学校連携共同ワークショップ作品展示

「おとなりアーティスト2024」

学校連携共同ワークショップ参加校作品展

学校連携共同ワークショップとは福島県ゆかりの作家、佐藤忠博(彫刻家)・小原風子(画家・絵本作家)を講師に招き、学校で子どもたちを対象としたワークショップを開催するアートプログラムです。今年度は県内10カ所の学校等で実施しました。本展覧会ではワークショップで制作した子どもたち全員の作品を展示します。子どもたちがアーティストとなって生み出した創意工夫あふれる作品をご覧ください。

2025年1月7日(火)～1月19日(日)

休館日：1月14日(火)

会場：美術館企画展示室B

観覧料：無料



開催中 企画展示

ポップ・アート 時代を変えた4人

12月15日(日)まで



展示風景(一部)

ポップ・アートは、報道写真、商業広告、量販品のパッケージ、著名人のポートレートなど、日常生活にありふれたモチーフやイメージを美術の中に取り入れ、1960年代のアメリカのアートシーンを席卷しました。ロイ・リキテンスタイン(1923-1997)、アンディ・ウォーホル(1928-1987)、ロバート・ラウシェンバーグ(1925-2008)、ジャスパー・ジョーンズ(1930-)はポップ・アートを牽引したアメリカを代表する作家たちです。彼らは反戦運動や公民権運動などの社会運動が相次いで起こった激動の時代において、ポピュラー・カルチャーやロック・ミュージックとの関わりを通じて、アートと社会の姿を変えていきました。

本展はスペイン出身のコレクター、ホセリス・ルペレス氏のコレクションから8人の作家をメインに、138点の版画、ポスター、服飾品を展示します。本邦初公開となるルペレス氏のコレクションを通して、本展では同じ1960年代に脚光を浴びたザ・ビートルズになぞらえて「ザ・ファビュラス・フォー(素晴らしき4人)」と呼ぶ、リキテンスタイン、ウォーホル、ラウシェンバーグ、ジョーンズの作品を中心に、時代を変えたポップ・アートの軌跡をご紹介します。

開館時間：9：30～17：00（最終入館は16：30まで）

休館日：月曜日

観覧料：一般1,500(1,300)円/大学生1,000(800)円/

小中高生600(500)円 ※()内は20名以上の団体料金

〈関連イベント〉

ギャラリートーク

日時：11月30日(土)、12月7日(土)

14時～15時

講師：当館学芸員

会場：企画展示室 ※観覧券をご購入の上、企画展示室入口にお集まりください

開催中 企画展示

日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展

2025年1月25日(土)-3月9日(日)

★企画展示室内は写真撮影・おしゃべりOK

累計発行部数900万部を超え、子どもたちに広く愛されている絵本「だるまさん」シリーズ。作者のかがくいひろしは長く特別支援学校の教員を務め、50歳で作家デビュー。その後、急逝するまでのわずか4年の間に、珠玉の絵本を何冊も生み出しました。

没後初の大回顧展となる本展では、絵本原画やアイデアノートとともに、教員時代に手がけた教材や人形劇などの記録をひもとき、かがくい絵本の魅力に迫ります。

開館時間：9：30～17：00（最終入館は16：30まで）

休館日：月曜日（2月24日は開館）、2月12日(水)、2月25日(火)

観覧料：一般・大学生600(500)円/中・高校生300(200)円

小学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金



『だるまさんが』2008年 ブロンズ新社

〈関連イベント〉

【講演会】

・かがくいひろし「マイフェイバリット」
から見えてくるものー

開催日程：1月25日(土) 14：00～15：30

講師：水島尚喜氏（聖心女子大学教授、本展監修者）

会場：美術館講堂 ※聴講無料

・かがくいひろしの絵本づくりのひみつ

開催日程：2月9日(日) 14：00～15：30

講師：沖本敦子氏

（子どもの本の編集者 かがくいひろし担当編集者）

会場：美術館講堂 ※聴講無料

※講演会はいずれも事前申し込みは不要です。
当日は13：30より開場します

常設展示 福島県立美術館のコレクション

第Ⅳ期コレクション展

2025年1月7日(火)-3月9日(日)

〈主な展示内容〉

新収蔵作品(松林雪貞、金暎淑ほか)／絵本を描いた美術家(佐藤忠良、元永定正ほか)／ベン・シャーンとアメリカ美術(《ラッキードラゴン》ほか)／斎藤清の木版画・柄澤齊の木口木版画

※次回の第Ⅰ期コレクション展は2025年3月22日(土)～の予定です。

美術館への年賀状展 2025

福島県立美術館では、小学生・中学生・高校生からの版画やイラスト、はり絵などで作った「手作り年賀状」を募集します。賞の授与は行いませんが、届いた年賀状はすべて美術館エントランスホールに展示します。みなさんの力作をお待ちしています！

◆募集作品

市販のハガキ、または同じサイズ(14.8×10cm)の用紙に年賀状のために本人が制作した作品1人1点。表現技法や画面の縦横は自由です。

◆送付方法

あて名面に本人の「郵便番号・住所・氏名・学校名・学年」を明記の上、下記のあて先まで送付してください。学校・学年・クラス・部活などのグループ単位での応募も大歓迎。美術館に直接お届けいただいても大丈夫です。

◆募集期間 2025年1月4日(土)まで

◆展示期間 2025年1月12日(日)～1月31日(金)

※観覧無料

◆あて先とお問い合わせ

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地
福島県立美術館「美術館への年賀状展」係
電話024-531-5511

◆年賀状づくりコーナー

11月30日(土)～12月15日(日)の期間、美術館のエントランスホールに年賀状用スタンプコーナーを設置します。来館の際にはがきを持参して自由に押していただけます。